

くまっこ新聞新春号

幼児期は人間として必要な基本ルールを「感覚」として身につけられる、かけがえのない大切な時期です。

お礼を言うべきときに、自然に「ありがとうございます」と言い、失敗や失礼があれば「ごめんなさい」と謝ることができる礼儀の感覚は、身につけるのに最適な時期を逸すると、形成することや修正することが困難になります。

返事や挨拶ひとつをとっても、明るく元気に、そして丁寧にできる子は元気があふれ出し、日々の生活も生き生きとします。礼儀作法を身につけることができれば、多くの人に愛され、親しまれ尊敬されます。何よりも本人が楽しく明るく幸せな日々を送ることができます。

くま教育センターのスタッフは、挨拶をはじめとする「礼儀作法」を大切にしたいと考えております。

新しい一年がお子様にとって、また保護者の皆様にとって笑顔あふれる年になりますようお祈り申し上げます。

本年もよろしく願いいたします。

熊本 季治

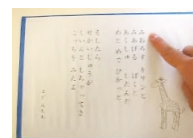
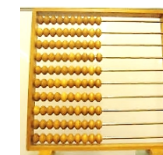


さんすう・こくごクラスは
どんなことをするの？



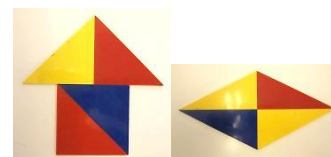
フラッシュカード・・・厚手のカードに文字や言葉をかいたのもで、これを瞬時に見せながら先生が発声し、子どもにも発声させることによって言葉を吸収していきます。

百玉そろばん・・・百玉という半具体物を使用し、量感をとらえます。「耳で音を聞き、目で見て口で唱える」という3つの器官を使い、緊張の中で瞬間的に量感をとらえていきます。



詩（音読）・・・先生が感情をこめて読むことで、自然に言葉の意味や内容を吸収していき、言語感覚を養うことができます。

タイル・・・幼児がひと目で量をとらえて把握できる数はだいたい4までです。そこで、1～4までの数を指を使わず瞬時にとらえて数量感覚を養うために、タイルを使用します。タイルで階段を作ることによって量感を把握することができます。



パズル・・・見たものと同じ形を作ったり、型にはめたりすることで、集中力・記憶力・感覚を養います。

積み木・・・自由な発想や創造を楽しむことができ、遊びの世界が広がります。様々な遊び方を通して、創造力を豊かにするだけでなく、推理力や分析力などの力も身につけることができます。



☆その他、各学年に合ったもじ・かずのおけいこやリズム体操・サーキット遊びやなわとびなどの運動、集団遊びなどにも取り組みます。また、製作などを通して巧緻性も養っていきます。